

令和6年度

放課後子ども教室紹介だより

発行：会津教育事務所 No1



あいづっ子 1455 (会津若松市)

訪問日

令和6年10月16日(水)

訪問場所

会津若松市生涯学習センター



- ・平成19年開設
- ・年間24回(水曜日)開催 会場：多目的ホール
- ・放課後子ども教室に登録している鶴城小・城北小・謹教小・日新小・一箕小・ザベリオ学園小学校の児童から参加希望をとっている。
- ・主な活動内容・防災教室、大学生との交流、ニュースポーツ、木工クラフトなど工夫を凝らしたプログラムを実施。異学年のグループ活動を行っている。



【参加者全員で記念撮影】

★ 活動の様子 ★



電気教室ペットボトルランタンを作ろう！

東京電力リニューアブルパワー株式会社・東京電力パワーグリッド株式会社から7名のみなさんを講師としてお招きし、教室が開催されました。当日参加した児童は24名。(放課後子供教室コーディネーター1名、支援員4名、生涯学習指導員1名もサポート役として参加。)この日の「ものづくり」は、水を入れたペットボトルに下からライトを当て、光の拡散を利用したランタンの作成でした。

コーディネーターから挨拶があり、講師の先生方の紹介をいただきました。「電気とは何だろう?」「もし電気が無くなったらどうなる?」「その時身近なもので役立つものを作ろう!」という流れで、今日作成する「ペットボトルランタン」を見せてもらおうと、既にやる気満々、子どもたちの目は輝いていました。

多くの大人の助けや励ましを受けながら、一人ひとりが個性溢れるランタンを作成しました。部屋の電気を消すと出来上がった作品を自慢げに見せてくれました。魔法の粉(小麦粉)を入れると更に趣のある光を放っていました。子どもたちの顔はみな満足げで、お礼の言葉も大変立派でした。



室内の電気を消して、作品のお披露目している様子



【活動の様子】



物江コーディネーターから

子どもたちが楽しんで、記憶の中に残るような体験をさせてあげたい。
また、常に安全を第一に考え、怪我には十分注意して活動している。

色々な学校から児童が集まって異年齢の交流ができています。親ができることには限界があるので、親以外の大人に関わっていただく体験は貴重である。



保護者から